

おもな学校感染症と出席停止期間

第1種：出席停止（治癒するまで）		
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、特定鳥インフルエンザ		

第2種：出席停止（疾病により期間が異なる）		
病名	症状	出席停止期間
インフルエンザ	高熱、全身倦怠、関節痛、筋肉痛、鼻・のど・気管支の炎症、咳、鼻水	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	発熱、全身倦怠、関節痛、筋肉痛、咽頭痛、胸痛、咳、鼻水	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで
百日咳	熱なし、コンコンと連続して止まらない咳、夜間に咳がひどくなる	特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで
麻疹（はしか）	鼻水、目やに、発熱、発疹、くしゃみ、粘膜のカタル症状	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発熱、耳の下から顎の下にかけての腫れと圧痛（押すと痛む）	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好となるまで
風疹（3日はしか）	発熱（中程度）、発疹、リンパ腺の腫れ、カタル症状は麻疹より軽い	発疹が消失するまで
水痘（みずぼうそう）	発熱（軽～中程度） 発疹→水	全ての発疹がかさぶたになるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、のどの痛み、目やに、結膜の充血、涙	発熱、咽頭炎、結膜炎などの主要症状が消退した後2日を経過するまで
結核	結核の種類により、症状も異なる	症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	発熱、頭痛、意識障害、嘔吐	症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで

第3種：出席停止（症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで）		
コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎		

第3種：その他の感染症（条件によっては出席停止が必要と考えられる感染症）		
溶連菌感染症・ウイルス性肝炎・手足口病・伝染性紅斑（りんご病）・ヘルパンギーナ マイコプラズマ感染症・感染性胃腸炎・急性細気管支炎（RSウイルス）・带状疱疹 アタマジラミ・水いぼ・伝染性膿痂疹（とびひ）		

※上記以外の感染症で、出席停止かわからない場合は、ご相談ください。